

2016年10月27日18時解禁

郵政博物館

NPO 郵趣振興協会

郵政博物館、2017年度よりNPO 郵趣振興協会との共催で 「特別切手コレクション展」事業を開始

—— 本格的かつハイレベルな切手コレクションの特別公開がスタート

1. はじめに

このほど、東京スカイツリータウン・ソラマチ 9 階に立地する郵政博物館（館長：井上卓朗、東京都墨田区押上）では、内外コンペ形式の展覧会上位入賞の切手専門家で構成する非営利団体である NPO 郵趣振興協会（共同代表：行徳国宏、吉田敬、池田健三郎、東京都港区六本木）¹との共催により、来たる 2017 年度から「郵博 特別コレクション展」事業を実施スタートさせることとしました。

あわせて、本日付で出展者の公募を開始しましたのでお知らせいたします。詳細な開催スケジュールおよび内容は、本年 12 月をめどに NPO 郵趣振興協会が取りまとめの上、公表いたしますのでどうぞご期待ください。

2. 「郵博 特別コレクション展」事業の趣旨・目的

「郵政博物館」は、平成 26(2014)年 3 月 1 日に公益財団法人通信文化協会が運営する博物館として現在地に開館し、今日まで、世界主要国としての日本国のナショナル・ミュージアムとして、その役割を果たしてきました。これまでの事業内容は郵政事業それ自体に関するものを中心に、可能な限り幅広い領域に関する展示等にも力を入れ、来館者のみなさまに好評を博してきたところです。

しかしながら、展示スペースの制約等もあって、主要国の殆どの郵政博物館が常設し高い評価を得ている「フィラテリー」と呼ばれる高水準の切手/郵便史料コレクション展示については、限られた開催実績にとどまらざるを得なかった経緯があります。

こうした状況を踏まえ今般、1840 年に英国が世界最初の切手²を発行して以来、世界各国において脈々と続けられてきたフィラテリー（切手/郵便史料の収集・研究）に関する展示を大幅に増強することとし、NPO 郵趣振興協会との共催により館内多目的スペースを活用した特別展を年間 8 回程度開催することとしました。

この特別展において、わが国コレクターが形成した優れたコレクションを広く公開することにより、来館者の皆様に郵便文化への理解を深めていただくとともに、滅多にみる事が出来ない貴重な「紙の宝石」を間近で鑑賞する機会を供することにより、その満足度を高めることを企図しています。

3. 「郵博 特別コレクション展」事業の概要

この事業の運営実務は、郵政博物館との役割分担により、すべて NPO 郵趣振興協会が担当します。

¹ NPO 郵趣振興協会のあらましについては、別添参考資料「NPO 郵趣振興協会のあらまし」をご参照ください。

² ペニー・ブラックまたはブラック・ペニーと呼ばれています。

(1)会場:郵政博物館内 多目的スペース

(2)会期:以下の8会期(2017年5会期+2018年3会期)とします。展覧会会期は土-日曜日の2日間を原則とします。なおスケジュールは今後、変更される可能性があります。

【2017年】4/28-30日、5/13-14日、6/3-4日、10/7-8日、12/9-10日

【2018年】1/13-14日、2/3-4日、3/3-4日

(3)内容:個人またはグループによる公募を原則とし(一部、共催者が独自に選定した展示とする場合もあります)、当該個人またはグループ構成員が所有する切手/郵便史料コレクションを展示するものとします。内容は「日本のナショナル・ミュージアムである郵政博物館の特別展にふさわしい水準のもの(貴重なもの、興味深いもの、美しいもの、楽しいもの等)」を要件としています。公募出展者の展示内容については、NPO郵趣振興協会が専門的見地から判断して決定します。

(4)展示規模・設備:展示パネル(フレーム)40枚程度(パネル1枚はA4サイズのプレゼンテーション・ページ16枚<4×4>で構成)

(5)申込手続き:別添「郵政博物館における『郵博 特別切手コレクション展』2017年度 出展者募集要項」をご参照ください。

(6)本件のお問合せ先:

NPO 郵趣振興協会 事務局

・連絡先 Eメール info@kitte.com

・すべて郵送物等の送付先

〒102-0083 海事ビル内郵便局留置 NPO 郵趣振興協会 郵博特別展係

(事務局所在地[こちらには郵便物は送らないでください])

1060032 東京都港区六本木 7-8-5 藤和六本木 C2-902 吉田方)

※本事業の実務はすべてNPO 郵趣振興協会が担当します。

よって、会場となる郵政博物館への直接のお問い合わせはなさらぬよう願います(博物館に照会されても対応できません)。

以 上